

臨床研究「成人期心房中隔欠損症の病態と治療に関する検討」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

心房中隔欠損症は先天性の疾患ですが、幼少期には症状がなく、成人になってから初めて発見されることも少なくありません。中年期以降には心不全や不整脈などの症状が出ることもあり、ある程度右心系の負荷所見がある患者さんでは、閉鎖術を含めた治療が推奨されています。しかし成人期の患者さんの場合には、長い年月にわたり心房間に短絡血流が存在していることによる心臓の構造的、器質的な変化が生じていることも多く、欠損孔を閉鎖した後の血行動態や心臓の形態変化なども考慮に入れて治療戦略やフォローアップの計画を考える必要があります。

本研究では成人期の心房中隔欠損症の患者さんにおいて、閉鎖術を含めた治療を行うことにより、心臓の形態や機能がどのように変化していくか、またそれが症状や長期的な経過にどのように関連しているかを記録、評価することにより、成人期心房中隔欠損症の適切な診療につながるような知見を得ることを目的としています。

② 研究対象者

2012年4月1日から2023年3月31日までの間に当院に通院されている心房中隔二次孔欠損症を有する患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

④ 研究の方法

本研究の対象となる患者さんは、当院に通院されている心房中隔欠損症を有する患者さんです。通常の検査、診療記録から得られる情報を登録し、解析させていただきます。

⑤ 試料・情報の項目

検査画像および診療記録から下記の項目を調査します。

- ・基本項目：性別、年齢、身長、体重、血圧、脈拍、併存疾患の有無など
- ・診療上の必要により行われる検査のデータ：血液検査、心電図、心エコー図検査、心臓MRI検査、心臓カテーテル検査など
- ・治療内容と臨床経過

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

行いません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学循環器内科 助教 町野智子

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場

合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 循環器内科（講師 石津智子，助教 町野智子）

電話： 029-853-3143（循環器内科医局 対応可能時間 平日 9:00～17:00）

FAX： 029-853-3227